

第30回火山噴火予知連絡会 議 事 録

日 時 : 昭和59年2月17日(金) 14時—17時50分

場 所 : 気象庁第1会議室

出席者 : 委 員 : 下鶴, 横山, 高木, 行武, 渡部, 青木, 久保寺, 加茂, 太田, 小坂, 別所*
(科技厅), 清水, 長谷川*(文部省), 小野, 水野, 小沢*(水路部), 高橋,
竹内, 山川, 渡辺*(気象研), 原田

注) *印:委員の代理出席, ()内は所属

オブザーバー : 武田(地理院), 大竹(防災セ), 山崎, 久本, 小宮, 秋山(気象庁), 田
中(気象研), 丸山(東京管区気象台)

庶 務 : 浜松, 吉留, 永福, 安藤, 山本, 宇平

[議事に先だち, 山川委員から渡部暉彦委員の紹介があった。]

議 事

1. 第29回連絡会議事録(案)は一部字句修正のうえ承認された。
2. 最近の火山活動について

2.1 桜 島

吉留(気象庁):活動経過

加茂委員:爆発回数,地震発生状況等について

太田委員:桜島火山における温泉観測結果

2.2 草津白根山

吉留(気象庁):活動経過

小坂委員:噴火による噴出物分布及び湯釜新噴気孔の火山ガス組成等について

小野委員:草津白根山の活動について(コメント)

草津白根山の火山活動についての会長コメント

「草津白根山は一昨年10月26日の噴火以来火山活動が活発であり,その後現在まで4回の噴火があった。昨年11月13日には,火口から600~700mの距離まで噴石を飛ばす噴火があり,12月21日にも小噴火があった。表面活動は現在も活発であり,一部の火口から白煙がみられる。火山性地震は12月191回,1月68回,2月は16日現在25回発生しており,なおかなり高いレベルにある。

したがって,警戒を続ける必要がある。」

2.3 三宅島

吉留(気象庁):噴火後の経過

渡部委員:噴火後の震源分布,熱分布等について

行武委員：全磁力観測，電気抵抗測定について

高木委員：噴火後の震源分布等について

水野委員：①三宅島新溶岩流の分布と溶岩流量

（溶岩流量の合計は計算によると700万立方メートルである）

②三宅島の上下変動

横山委員：三宅島における重力の精密測定

小野委員：①三宅島1983年噴火の火口群の命名

②溶岩流の温度測定について

小坂委員：火山ガス分析結果

加茂委員：溶岩流のシュミレーションについて

横山委員：水準点の改埋時の再測について

水野委員：水準点の改埋時の処置について

2.4 樽前山

吉留（気象庁）：地中温度上昇，地震増加について

横山委員：震源分布，辺長変化，地熱・噴気活動等について

渡部委員：熱測定について

小坂委員：火山ガス成分等について

水野委員：地表温度分布について

横山委員：昨年11月1日に苫小牧測候所が発表した臨時火山情報の内容と比べ状況は変わっていない。地震も1月は多発したが，2月は減少した。

2.5 霧島山

渡部委員：震源分布等について

吉留（気象庁）：地震回数増加について

2.6 伊豆大島

吉留（気象庁）：昨年末の群発地震について

秋山（気象庁）：大島の歪変化とステップ状変化等について

行武委員：全磁力連続測定と三原山の見かけ比抵抗測定

渡部委員：熱測定について

2.7 富士山

渡部委員：地震・傾斜観測結果

高橋委員：富士山直下の特異な微小地震活動について

2.8 阿蘇山

田中（気象庁）：中岳火口内地表温度の変遷

久保寺委員：阿蘇北西域の地震について

太田委員：阿蘇火山における温泉観測について

2.9 浅間山

吉留（気象庁）：地震観測点2点増設について

太田委員：浅間山における二酸化イオウ放出量の測定

2.10 有珠山

横山委員：月別地震数の変化率等について

小坂委員：火山ガス成分の変化等について

2.11 御岳山

小坂委員：噴気孔ガス成分の変化等について

3. 連絡会幹事について

下鶴会長から「会長になってからもそのまま幹事になっているので、このさい幹事をやめ、代りに加茂委員に幹事をお願いしたい」と提案があり了承された。

4. 噴火災害対策推進連絡会議検討項目について

清水委員：昨年12月に第2回の会議を開き、各火山ごとにその活動状況に応じた観測体制等4項目について現状把握を行ったところである。更に年度内を目途に問題点を洗い出したうえで対策をまとめていくことにしている。

5. 日本活火山要覧の改訂について

吉留（気象庁）：昭和58年度「国土庁災害対策総合推進費」により、気象庁で「火山噴火災害対策に関する調査」を行い、「日本活火山総覧」を作成することになった。それに伴い、日本活火山要覧の改訂を行うが、内容充実をはかるため、大学・研究機関の観測施設一覧、観測点配置図等の追加を計画している。関係機関にフォーマットを添えお願いするので、御協力くださるようお願いする。

6. その他

(1) 昭和59年度火山噴火予知関係予算の一部訂正について……長谷川委員代理

〔下鶴会長記者会見のため退場、横山委員が会長代行となる〕

(2) ラバウル火山観測の現状について……渡辺委員代理

(3) 次回連絡会開催期日

5月14日（月）を予定

(4) 提出資料

① 1/5000 火山基本図……国土地理院

三宅島 Ⅲ～Ⅳ 4枚

〃（噴火地形変化図） Ⅲ～Ⅳ 4枚

樽前山 1枚

北海道駒ヶ岳 1枚

② 昭和59年度火山噴火予知計画関係予算の概要……気象庁

〔17:45-18:20 記者会見 気象庁記者室〕